



ゆり組だより 3月号

令和5年3月22日 こより保育園 担当:太田

暖かな日差しとともに、園庭のモクレンも満開を迎え、綺麗な白い花を咲かせています。戸外遊びの際には子ども達もモクレンを眺め、「綺麗なお花。」「暖かくなってきたから咲いたのかな。」と春の訪れを感じる声が聞こえてきます。

現在行なっている卒園式の練習では、こよからの小学校生活において基本的な習慣となる、話を聞く姿勢や話をしている人の目を見ることの大切さを伝えています。練習を始めたときには緊張で固まっていた子ども、回数を重ねる度に子ども達も見通しがつき、安心して普段の姿が見られます。当日は雰囲気も違い、緊張するかもしれないが温かく見守ってください。

さて、最近のゆり組では、家で描いてきた絵を保育室で飾ることがゲームになっています。きっかけは一人の子が「上手に描けたから、お部屋に飾りたいな。」と一枚の絵を保育者に渡したことから始めました。「すごく綺麗な絵だね」とその絵を飾ると、次の日には別の子が「僕も上手に描けたから飾りたい。」更に次の日には「絵じゃなくて折り紙頑張ったよ。」気が付くと保育室の一角は素敵な作品でいっぱいになりました。「この絵、上手! 誰が描いたの?」「それは〇〇ちゃんが描いたよ!」と盛り上がる子ども達。中には保育者に「大きくなったら絵を描くお仕事してみたいな。」と教えてくれる子どももいました。子ども達が夢中にならぬことを見つけるきっかけ作りが出来たことを嬉しく思います。

担任として至らない点もあったと思いますが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございます。残り少ない日々を子ども達とともに大切に過ごし、卒園までしっかりと見届けたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。